



平成14年10月17日

ここのえ町

第59号

発行/九重町議会

〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 09737-6-3814

編集/議会広報編集委員会

印刷/尾花印刷有限公司

議会だより



第8回全国和牛能力共進会 町内出品者〈岐阜県清見村〉(後列左から 平山さん・時松さん・佐藤さん)

9月定例会

- 第3回定例会 P.2
- 陳情・請願・発議 P.3~4
- 委員会報告 P.5
- 一般質問(5名登壇) P.6~10
- わたしのひとこと
 - 野上 高橋子工子さん P.11
 - 飯田 時松眞寿代さん
- こんな町にしてほしい 野上小学校6年 佐藤 友貴さん P.12

第3回定例会

本定例会は9月10日から19日までの10日間開催されました。
議案17件、発議2件、請願1件、陳情4件を慎重に審議しました。

教育委員会委員

仲摩八千代氏の
再任に同意



(下旦四)

教育委員の仲摩八千代氏の任期が平成14年10月7日で満了となるため、同氏を再任することを、満場一致で同意しました。

人権擁護委員

佐藤恵子氏の
推薦に同意



(尾 本)

人権擁護委員の佐藤恵子氏の任期が平成15年1月31日であるため、同氏を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦したため、満場一致で同意しました。



●鳴子川溪谷周辺整備事業費

5,700万円

●寺田住宅（野上）
合併浄化槽整備費

2,600万円

●新園芸振興総合対策事業費
（ブルーベリー）

1,100万円

合併浄化槽設置が望まれる寺田住宅

議会の動き

7月	4日	正副議長会議
8月	9日	議会運営先進地視察（山口県）
9日		済生会日田病院増改築起工式
〃		田野庄内線道路整備期成会現地調査
10日		第5回市町村合併対策特別委員会
15日		千葉県東金市視察来町
16日		玖珠郡議員大会
17日		全国共進県最終予選
18日		玖珠地区農業振興対策協議会総会
19日		鳴子川周辺調査特別委員会視察（熊本県）
25日		消防団退団者感謝状贈呈式
29日		国道387号線期成会総会
30日		議長・総務財政常任委員会正副委員長研修会
31日		大分県農業会議玖珠支部総会
8月	6日	議会広報特別委員会臨時会
7日		鳴子川周辺調査特別委員会全員協議会
9日		国道387号線道路整備要望
〃		国道210号線整備要望
15日		第48回成人式
16日		玖珠地区広域常任委員会協議会
19日		カッコウの異歌迎会
20日		日出生・台演習場関係3町連絡協議会
〃		カッコウの異歌迎会

みなさん方の陳情や

請願はこうなりました。

陳情

九重町区長会長 日野爾
郎氏外3名からの「平和祈
念の碑等の建立について」
は、

陳情の趣旨は理解できる
ので、執行部において慎重
に対処すべきであるとの結
論に達し、採択すること
で意見の一致をみました。



老朽化で新設が望まれる

陳の内上区長 佐藤新八
氏外15名からの「町水道の
新設について」は、

現地調査を行ったところ、
一部は井戸があるものの大
半は山間の出水や井路の漏
水を生かす生活用水にしており陳
情どおりの現状である。出
水等の水量が減少する中、
地区民を随う水源の確保が
難しいこと及び衛生上の問
題や当地区が既に給水区域
内であることに鑑み、採
択すること意見の一致を
みました。

玖珠郡三原協議会々長、
渡辺東海氏からの「あま
ま施術料助成に関する件につ
いて」は、

関係機関との協議が必要
なため、継続審査とするこ
とで意見の一致をみました。

社会民主党大分県連合代
表 重野安正氏並び大分県
平和運動センター議長 岩
崎正文氏からの「有事関連
三法案に反対する意見書の
提出について」は、

国会においても国論は二
分し、不透明性や危惧され
る面もあり継続審査となつ
ており、次期臨時国会にお
ける審議は国民の利益を保
護できるような慎重な審議
を願うものである。よって
本件は不採択とすることで
意見の一致をみました。

請願

継続審査となっていた、
日本平和委員会玖珠郡委員
会事務局 熊谷豊広氏か
らの「有事法制関連法案の
撤回を求める意見書の提出
を要望する請願」について
は、

国会においても国論は二
分し、不透明性や危惧され
る面もあり継続審査となつ
ており、次期臨時国会にお
ける審議は国民の利益を保
護できるような慎重な審議
を願うものである。よって
本件は不採択とすることで
意見の一致をみました。



日出生台演習場での訓練

21日	鳴子川渓谷整備要望 (大分県庁)
22日	全国共進会九重町推進 協議会
23日	全国共進会協議会
24日	3町議長連絡協議会要望
25日	県議長会理事會
26日	県知事との懇談會
27日	市町村合併を考える台 同會
28日	行政連絡協議會
29日	議運會委員會
30日	第3回任意合併協議會
31日	戦没者追悼式
1日	本會議(開會)
2日	議會広報特別委員會
3日	議員學習會
4日	本會議(一般質問)
5日	總務財政常任委員會
6日	教育民生常任委員會
7日	建設産業常任委員會
8日	農林(陸上)
9日	県体(議員ソフトボール)
10日	鳴子川周辺調査特別委員會
11日	本會議(閉會)
12日	全員協議會
13日	全員協議會
14日	全國共進會出立式
15日	鳴子川周辺調査特別委 員會視察(宮崎縣)
16日	議會広報特別委員會
17日	廣域議會



道路特定財源の確保を求める意見書

道路は社会生活の最も基礎的な施設であり、その整備は国民が等しく熱望しているところである。しかしながら道路整備の現状は、その目的と役割が達成されたと云えるには程遠く、今後とも全国各地からの要望と道路整備に対する政策的要請を踏まえて計画的かつ着実に整備する必要がある。昨今、税制の見直しの動きの中で道路特定財源の見直しが議論されているが、道路整備に必要な財源の安定的確保の重要性は論を待たないところである。

さて、地方においては都市部に比較して社会資本の整備が今なお極めて不十分なものとなっているのが現状である。この都市部との著しい格差を是正し地場産業の振興により地域経済の活性化を図るためには引き続き道路整備を促進していくことが不可欠なものである。道路特定財源の見直し

は道路整備に対する地方の切実な願いに反するものであり、道路整備のさらなる遅れに直結し地域住民の生活をも脅かすものである。本町においては過疎、高齢化が進行しており地域社会の活性化には道路、交通体系の整備が急務である。町内を貫通する主要地方道路並びに主要幹線道路と各集落を結ぶ生活関連道路の整備促進のために道路特定財源の確保が是非とも必要である。よって、本町議会は政府並びに国会に対して次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 一、揮発油税、自動車取得税をはじめ自動車重量税を含む道路特定財源については、道路財源に充当し他の用途へ転用しないこと。
- 二、平成15年度予算においては新道路整備5カ年計画の円滑な推進に必要な額を確保し、事業費の地方への重点配分を図るとともに地方の道路財源を確保すること。

地方税源の充実確保に関する意見書

現下の地方財政は長引く景気の低迷による大幅な税減収に見舞われその財政運営は危機的な状況にある。

一方、地方分権の進展に伴い、地方自治体が担う役割はますます増大し、少子・高齢化の進展に伴う地域福祉施策の推進、資源循環型社会の構築に向けた環境施策の推進、生活関連社会資本の整備、地域産業の振興育成対策など、地域の実情

に即した施策を積極的に展開していく必要がある。

このような状況下にあつて、我々自らの行政改革を一層積極的に進め財政の健全化に努めることは勿論であるが、増大する住民の行政サービスのニーズに応えていくためには、地方税源の充実確保を図って行くことは地方自治体にとって極めて重要である。

よって平成15年度税制改正に当たっては、下記の事項について実施されるよう強く要望する。

記

- 一、固定資産税は、町村の財政を支える基幹税目であるので、平成15年度の評価替えに当たっては、一層の負担水準の均衡化、適正化を推進しその安定確保を図ること。

- 二、法人事業税への外形標準課税の導入については、都道府県財政の安定化は町村財政にとつても極めて重要であることから早期導入を図ること。

- 三、ゴルフ場利用税は、廃棄物処理や環境対策など、ゴルフ場所在の町村の行政サービスの密接な関係を持し本税の10分の7が町村の貴重な財源となっていることから充実確保を図ること。

- 四、特別土地保有税は、土地の有効利用を阻害するものでなく、未利用地の有効利用の促進という現在の土地政策に適合したものであることから、本税については堅持を図ること。



道路整備には財源の安定確保が必要

ブランドチャンピオンに輝く(技術部門)

牛の祭典。第8回全国和牛能力共進会が、岐阜県清見町で開催され、テーマ「若い力と育種価で早めよう和牛改良、伸ばそう生産」この共進会は単に外観だけを考えた出品でなく、その時代に要求される経済能力を考慮した出品区を設定し、次の時代を託せるような素材を選抜し、産肉能力に関する育種価を出品条件で全国産地が優れた牛群で競う、西期的な共進会となった。

1区より10区まで28頭の出品で、玖珠郡より14頭が出品された(内九重町より3頭)全頭が優等賞に(最優秀賞)入賞。特に9区の若雄後代検定中、肉牛3頭セットで内閣総理大臣賞の受賞で事実上の日本一となった。今後の畜産振興に大いに期待される。各区の成績は次の通り。

1区 若雄の1
優等賞 6席 大分県
2区 若雄の2
優等賞 5席 大分県
3区 若雄の1

優等賞 5席
九重町 佐藤 照彦
4区 若雄の2
優等賞 8席
玖珠町 梅木 隆富
5区 若雄牛群
優等賞 5席
長尾 日吉
新藤 昇 (玖珠町)
時松 義俊 (九重町)
平山 武夫 (九重町)

6区 繁殖雌牛群

優等賞 6席 湯布院町
7区 高等登録群
(3頭1セット)
優等賞 7席
新藤 昇 (玖珠町)
8区 総合評価群(種牛群)
優等賞 3席

小野 忠温
井上 定之 (玖珠町)
戸川 清高 (玖珠町)
迫 文男 (玖珠町)
(肉牛群)
ウエストファーム(玖珠町)
JAさわやか肥育センター
中野 勝也 (四日市)

9区 若雄後代検定牛群
内閣総理大臣賞
(ブランドチャンピオン)
池島舞昭 (高田市)
JA湯布院 小石 誠司
10区 父系牛群肉牛3頭
優等賞

中村 勝也 (四日市)
角 光明 (中津市)
浦田 学 (院内町)

以上の素晴らしい成績で牛は豊後が日本一の名声を更に高めた。
出品者の皆様大変お疲れさまでした。



優等賞に輝いた佐藤照彦さんの出品牛

鳴子川周辺調査特別委員会研修報告

去る9月24日に先進地研修として宮崎県綾町へ照業大吊橋を中心として研修を深めた。この町は国道もJRも無い原生林の町であり森林資源を活用して暫くは繁盛はしたが、自然保護運動の高揚と共に伐採が出来なくなると経済も冷え、倒産や破産、そして病人の町と言われるようになった。

このような中で起死回生策はないかと模索するうち、健康保持の為に有機農産物づくりと、外貨を得る為に吊橋構想が上がり、20年前に着工したもので今日の盛況を呈している。以下若干の感想を述べてみます。

● 道路も狭く悪条件の中で年間20万人から30万人が訪れているので、我が町はもっと期待出来る。と確信が持てる。

● 農産物の販路開拓に吊橋の集客力はプラスになった

● 安全とスリルを兼ねそろえた吊橋であり、地産地消に繋がっており、地元産品とその加工品を販売すべきではないか。

● 自然保護は勿論のこと景観の保護を図る必要がある。

● 我が町の場合、交通アクセスがよいので日帰りが予想されるので滞在型に結びつける工夫が望まれる。

いずれにしても町の将来を見据えて、小さくても活力のある町づくりを目指して、農業と観光を一大拠点となるよう万全を期すべきと新たな決意で望みながら帰郷とします。



綾町の照業大吊橋

私の一般質問

9月11日に5名が質問しました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

梅木 征治



個人情報
は
守れるか

問 約1億2千740万人に11けたの番号を付け、住民票情報を蓄積する住民基本台帳ネットワークが、8月5日より稼働し始めた。住民の利便性の向上が期待されると同時に、国による住民管理となり、個人情報の漏えいが心配されるが対策は充分か。



スタートした住民基本台帳ネットワークシステム

〈秘密漏えい
厳しくチェックする〉

答 住民基本台帳ネットワーク、事務に従事する職員の秘密の義務は住民基本台帳で記録の保護、罰則一年以下の懲役または30万円以下の罰金等もうたわれていますし、職員教育の徹底を図り、町民サービスにつとめます。

日米共同訓練
安全対策は万全か

問 訓練が恒常化すると、地域住民の生活に影響が出る。特に畜産を中心とした農業が出来なくなっている。防衛予算を積極的に地元へ振り向けては、又防音工事のエリア拡大を強く進めよ。

〈安全対策を優先〉

答 日米共同訓練については、住民の皆さんは二回もあると言っていて非常に不安があると思います。訓練が恒常化しないよう最大限努力し、特に探草、放牧では引続き許可を強く申し述べていきます。又訓練の日曜祭日の時間短縮も交渉を

しています。

防音工事のエリア拡大は、現在の工事を終わってからのエリア拡大に最大限の努力していきたいと思っています。

だいじょうぶか
みはらしの湯

問 宮崎県日向市でレジオネラ菌による死亡事故が発生した。九重町には多くの



レジオネラ菌対策は万全か（温泉館）

温泉施設があるが、レジオネラ菌対策は充分か。

〈安心して利用を〉

答 現在の温泉館については、循環式を解消してオーバーフロー方式になっており、レジオネラ菌の検査もして基準以下ですので安心して利用していただける。今後も善良な管理に努めます。

介護保険を考える

平成14年改訂、問題点は



井上智昭

問 事業計画や保険料の改訂が行われる来年4月から負担はどう変わるのか。保険料が上がり、医療費の自己負担限度額の引き上げ、いったん窓口払いとなったり、訪問介護利用料も倍に引き上げられるのではないのか。強制加入である以上町民は必要なサービスを受ける権利を持っている。保険料徴収に関連して、町独自の減免制度を有効なものとし、申請しやすく、出来れば実情に応じ申請しなくても適用される減免制度にすること。生活保護基準以下の場合は全額免除とし、他の困窮者は半額以上の軽減、資産調査や扶養義務のある親族がいるかどうかは条件とせず、個々の審査は行わない。保険料滞納者への一律罰則をやめる。財源については国へ求めることとし、それ迄は町の一般財源

から繰り入れを行うこと。保険料が高齢者自身の生活を保障し適正な額であるかの検討をし、負担出来る保険料とすること。保険料を

払うことでだれもが安心して介護を受けられるよう改善を要求する。



誰もが安心して介護を受けられるような改善を

〈低い介護料で、高いサービスを〉

答 保険料、この3年間を想像して3、285円の保険料を設定して推移しています。九重町の場合、大体スムーズに整備もできています。今後は、今後の介護保険料の決定については、この制度そのものが、国民全体で介護する方を見ていこうという制度です。で、十分内部でまた検討を加えながら、改善すべきは改善しながら介護保険制度の確立を図っていききたい。



小川 克巳



合併をすることで 財政悪化！

問 行政区懇談会ではほぼ強制的に市町村合併を推進、小規模自治体には合併し出口が無いような説明がされたが、町民に実状を知らせるべきだ。九重町は財政的にも良好である。今後、大型事業は控えているものの、地方交付税はそんなに減らないのではないか。逆に、合併することによって大きく財政難に陥ることが考えられる。町民に実態を知らせ判断をすべきだ。

〈方向は合併に向けて〉

答 合併が避けて通れないという説明があったことは事実であり、意識結果に反映していると思います。しかし国の強い締めつけもあり全国的にも必要であることから、大小かわらず合併に向けての方向はそう変わっていないと思います。財政的には15年先までぐらいいは悪くないと思いますが、合併を財政論だけで決定できないと思います。



市町村合併についての行政区懇談会

学校給食に 無農薬米を

無農薬米を

問 地産地消の観点等から学校給食に地元産の有機無農薬栽培米を使用してはどうか。健康面からも「食」の重要性は論じられている。成長著しい時期でもあり、安全で安心できる無農薬の米をぜひ学校給食に使ったらどうか。



〈九重産の ひとめぼれ使用〉

答 現在使っている無洗米は九重産のひとめぼれと聞いております。流通経路は給食センターから県学校給食会へ九重産を銘柄指定で発注、学校給食会がパイルライス大分経済連へ注文、経済連はJA玖珠九重に出荷指示、九重町から鹿児島島の無洗米工場に送られ製品となって返ってきます。生産者グループとの契約については検討させていただきたい。

国体出場に 伴う支援は

国体出場に 伴う支援は

問 先に開催された、高知国体ホッケー競技の九州地区予選会が鹿児島県で実施され、玖珠郡の成年男子・成年女子がみごと優勝して10月末に高知で開催される国体に出場する。男子については28年ぶりの優勝でもある。



学校給食に無農薬米が望まれる給食センター

る。6年後の大分国体に向けてはずみがついたが、チームとしても用具等で苦慮している。財政的支援は考えられないか。

〈制度を検討〉

答 現段階では制度などを整備して援助ができるような形を考えてみたいと思います。

藤澤 昌由



功労表彰の 拡大を計れ

問 本町が目指している1万人が定住し2万人が交流する町づくりの意欲高揚の視点から、町政功労者表彰規程について伺う。今日までの実績はどの様になっているか。

この規程自体が実態から乖離しているのではないかと。特に「孝子」「節婦」など広辞苑にもない、又時代錯誤的表記もあり改訂すべきではないか。

見直しに際しては一村六品生産者であるとか、地味な活動をされている文化、奉仕社会活動家など壮年層も対象とすべきではないか。

〈功労表彰で

「やる気」を喚起〉

答 自治功労・産業功労・

民生功労・教育功労の区分で昭和40年から平成13年度まで、総トータルが個人の部で240、団体の部で35、合計で275の表彰です。功労者表彰規程第1条2項については、既に表現が不適切な部分は改めて、運用しています。例規集の整備が遅れましたことを深くおわびします。

功労表彰の拡大をしています。こういう人はどうかという人がいれば、ぜひ推薦をお願いしたい。



表彰規程の見直しを検討されている

『介護保険安定基金』 の創設はどうか

問 介護保険料の見直しを間近に控えているが現況はどう推移しているか。全国平均では約11%アップと報道されているがどうなっているか。

高齢化が急速に進展すれ



介護保険料の値上がり心配される

基金を創設すべきと考えるかどうか。
元気老人対策、地域福祉共同社会を構築する為にも、NPO法人を行政は育成すべきと考えるがどうか。

〈保険料現状で努力〉

答 町介護保険、今年3千万円近くの黒字が出ていますから、これを基金に積んで保険料が今年よりも上がらないよう、努力していきます。

町内には、二つのNPO法人が開設し、1ヶ所は既に介護保険の事業認定を受け、グループホームの事業を実施されています。もう一つの方は、軽度生活援助事業実施、規定に基づき1時間当たり幾らという補助助成をしています。





どうする 市町村合併

問 市町村合併をするのであれば、「九重と玖珠が基軸になって、周辺を巻き込んだ合併が望ましい」との町の方針だが、近隣の市町村との接触はどうされているのか。

国の示した16年3月又は17年3月にとられずに十分な議論を、合併特例債目当ての合併でなく、健全財政の中で将来ビジョンを含めて合併議論がだいじだと思いがいかか。

〈湯布院町と 正式に懇談予定〉

答 大分県の任意協議会は、11月には結論が出ます。湯布院の町長さんと先般の話では、「どうぞ正式に來

て下さい」とのことでした。

玖珠との任意協議会には了解を得ているので、正式に懇談してみたい。一応玖珠郡の任意協議会は16年3月をめどに目標を持っています。

2町で95億ぐらいの特例債があるが、1/3は起債ですから、公債比率が上がるといことは事実です。その辺までちゃんとビジョンを描いて、将来計画を立てることがだいじです。



市町村合併などが議論されるタウンミーティング

地産地消の流れを 更に進めよ

問 地産地消の積極的な取り組みは、どうされ、どんな結果が出て来たのか。

新鮮で安心・安全な顔の見える農産物がほしいという動きが、全国的に広がっている。中国野菜（ホウレン草等）や、国内での無登録農産物が問題になっている。町内でそのような使用は無いと思うが、周知徹底、啓発をされたらどうか。



九重町の産物が並ぶふるさと館

〈地産地消の宣伝を強化〉

答 アンケートで聞き取り調査をしました。この結果から、地産地消自身をもっと宣伝しなければいけない。価格が安く、使いたい時の量の確保等、農産物を安定して生産できる組織、供給できる体制づくりに努めた

い。無登録農産物については、新聞で情報を得るにとどまっています。極めて重要な問題ですから、取り組みを強め、注意をしていきたいと思っています。

ふん尿処理 更なる改善を！

問 九重ファームのふん尿処理、相当の改善はされているが、雨直後とか、夜間に流れていたという事故が発生している。知っているか。浄化槽等設置したと聞いているが、処理能力と飼育頭数とが均衡していないことが主要因でないかと思うが、その辺の分析と指導及び支援は。

〈改善・期待を している〉

答 河川に流れている時には連絡が入りますので、現地確認しています。

豚の年間出荷計画は1万頭で、肥育牛は現在336頭です。汚水の処理能力は当初計画の範囲には入っています。

臭いも随分改善をされています。会社の報告では10月に、地域の皆さんに見てもらえるような状況をつくりたいと言っています。私どもも期待をしているところでございます。



後継者の育成が期待される圃田の管理



高橋チエ子さん

議会推薦を受け農業委員として選任されて半期が経過しました。その間、毎月の総会に出席し改めて責任の重さをかみしめています。わからない事があつてあたり前の事、一つ一つ勉強をしながら、女性だから男性だからと関係なく農業従事者として「基」となる土を守る仕事をさせていたただくと、心構えで望みました。今日の農業をめぐる

環境は、担い手問題一つをとっても高齢化と農業後継者不足等厳しい現実を抱えております。しかし、生きる為に食料は欠くことのできないものであり、農地を守らなければなりません。私達農業委員もこれまで、鹿兒島、滋賀の先進地へ視察研修に行つて参りました。農地の有効利用、担い手の育成、食料の安定性等農業現場より農業者として誇りを持ち、女性の視点で夢のある農業を多くの人々に農村のすばらしさを感じて頂く為にも、一層努力しながら頑張るつもりですので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

わたしのひとこと

女性農業委員（議会推薦）



期待しています。



時松貞寿代さん

現在、全国で女性農業委員は、2166名います。大分県では1300名のうち今年51名となりました。県女性委員の会も発足し、その中の一人として昨年より未熟ながら務めさせて頂いています。今、「土地を耕す農業から、頭を耕し、心を耕す農業」に変わろうとしています。生産に迫われ余裕のない毎日ですが、生活の中でゆとりを持つ事が大事です。都会の人は、一度九重を訪れると、このめりはりのある四季を持つこの地に心惹かれると言います。思われた自然にだけ頼るのでなく、そこに住む人達や、豊富な農産物にまた会いに来たくなるような町づくりが必要だと思っています。依然として厳しい農業ですが、自分で作った物を自分達の手から、直接消費

者に渡したい、そんな思いを伝えられたいと思います。消費者の方に農作物の価値をもっと理解し、農業に対する意識を深めてほしいと思います。農地パトロールを各地区で行いましたが、遊休農地で有効利用できる土地もあると思います。自分のやりがい、生きがいを見つける為今一度、農地を見直す必要があるのではと感じました。私達も横渡し役として微力ながら何かお役に立てればと思っております。



農地の有効利用が期待される恵良地区

こんな町にしたい

もつときれいで
住みよい町に

野上小学校6年

佐藤 友貴さん



私はこのままの九重町がいいです。変わってほしいありません。水はおいしいし、自然がいっぱいあってしんけん楽しいからです。ましてやこの自然を壊さないでほしいと強く願っています。

東京とかは1年たつたら変わってしまうけど九重は何年たつても変わらないでほしいです。不便な所もあるけどそれが田舎のいい所だと思います。学校も人数の多い所ではなくて人数の少

議員リレー

随想 29

和の心



河野 範成

天高く馬肥ゆる秋、栗や栗、柿など秋の味覚が食卓をにぎわす頃となりました。稲田もすっかり黄金色になり秋の風情を実感するこのころです。

旧暦8月1日は八朔の日で後野上地区では、自然の恵みに感謝しながら五穀豊穡を祈願する八朔祭が子どもから高齢者まで参加し、地域のイベントとして今も

ない所でも学べることがいっぱいあります。合併という話も聞くけど合併なんかしなくても学べるものはたくさんあります。人数の多い少ないの問題じゃなくて一人ひとりの問題だと思っています。先の見えない未来をあれこれ心配するよりも今を充実させて生きていけばそれでいいんじゃないかと思っています。でも、一つこうなつたらいいんじゃないかと思うことがあります。よく草むらとかにゴミがポイ捨てされているのが気になります。そういうゴミなどを減らしていったら九重町

なお根づいております。失われていく伝統行事を継承しながら地域のつながり「和」を大切にしたいものです。国の内外では国交正常化に向けて努力がなされましたが、拉致問題は悲憤慷慨の念でいっぱいです。

またイラク問題にしても最悪の事態は回避されたものの、今後はどう推移していくのか気がかり、世界平和を願う心は私達人類共通

はもつときれいで住みよい町になっていくと思います。



高原の秋を象徴するススキ

の思いです。

一方、市町村合併は時を待たない状況で推移しています。軽率妄動することなく、21世紀の自分たちの地域をどのようにしていくのか皆で考え、皆んなで決める真の住民自治を望むものです。



今年の夏の猛暑も終わり、すがすがしい秋本番の気候。一向に回復の兆しの見えない景気、そんな中、横浜に現れた、アザラシのタマちゃん、明るい話題を提供して国民に清涼の一眼を与えてくれた。

9月17日、小泉首相の突然の訪問、日朝正常化交渉再開のためとはいえ、拉致問題の解決と合わせて話し合ってもらいたい。

拉致での被害者の無惨な結果を聞き、事件の真相究明こそ、再開交渉の条件で、核、ミサイル開発、工作船など、まだまだ正常化への高いハードルがまつている。いろんな援助が検討されるが、人道的な支援はしても他の援助は慎重な判断を。いまだ、宗教、民族の紛争が世界各地で起きているが真の平和がくるよう願っている。今、平和な日本を、今一度みんな考えて、感謝すべきではないか……。